

令和7年度 政 務 活 動 報 告

令和8年（2026）1月20日

無会派 堀毛 宏章

《令和7年度（2025）に使用した政務活動費》

- 1 目的：議会および議員活動報告
- 2 内容：市政だより「きくところたえる 第6号～第9号」の発行、配布
 - ・仕様：B4サイズ 両面2ページの構成
 - ・配布方法：一般紙の折込による市内配布等
- 3 政務活動費：下段のとおり（令和8年1月20日現在）

費目	詳細	金額	備考
市政だより第7号 印刷費 10,000部	印刷費 @43,190*0.75	32,392円	
市政だより第7号 新聞折込代	折込代（8900部） @41,118*0.75	30,838円	
市政だより第8号 印刷費 10,000部	印刷費 @43,190*0.75	32,392円	
市政だより第8号 新聞折込代	折込代（8900部） @38,181*0.75	28,635円	
市政だより第9号 印刷費 10,000部	印刷費 @43,190*0.75	32,392円	
市政だより第9号 新聞折込代	折込代（8800部） @37,752*0.75	28,314円	
合計		184,963円	



きくとこたえる 第7号

令和7年(2025)7月31日発行

丹波篠山市議会議員 堀毛ひろあき 市政だより



《ごあいさつ》

この度、「きくとこたえる 第7号」を発行いたしましたので お届けします。 今回の内容は

- 《1》 6月「水無月会議」での本年度補正予算
 - 《2》 「市議会だより」の紙面改革と人気のクイズ企画
 - 《3》 「水無月会議」での私の一般質問と市側の答弁
 - 《4》 「ささやま医療センター」の存続問題
- 最後は、**地域をいきいきと!** 以上の構成となっています。 ご覧いただけましたら うれしいです。

議会報告

《1》6月「水無月会議」での本年度補正予算

水無月会議（6月3日～6月26日）が開催され、市より、今年度一般会計補正予算（第2号、第3号）計4,474万7千円の提案がありました。各常任委員会で審議し、6月17日の予算決算委員会および6月26日の本会議で可決しました。主な内容は次の表のとおりです。

令和7年度一般会計補正予算（第2号、第3号）

キーワード	事業名	内容	予算額(1万円未満カット)
農都・魅力向上	「ふるさとミライカレッジ」委託料	市内東部6地区の祭りやイベントにおける担い手不足などの課題解決に向けた地域活性化プロジェクトの実施	995万円
地域と暮らし	公共交通対策事業	10月から市内の西部地域で運行予定のデマンドバスの購入費など	1,006万円
	救急電話相談窓口“#7119”の開設に伴う負担金	ケガや病気の際、受診する医療機関が分からなかったり、救急車を要請すべきか迷ったとき、さまざまな相談に応じてくれる。	141万円

《2》「市議会だより」の紙面改革と人気のクイズ企画

私が委員長を務める「議会広報特別委員会」では、「“分かりやすく読みやすい”市議会だより」を目指して、いろいろと検討を重ねています。そして、その一環として、4月21日発行の114号では、記事のほとんどを、7月18日発行の第115号では、記事のすべてを、これまでの「縦書き」中心から「横書き」に改めました。

最近のさまざまな印刷物は横書きが多く、パソコン・スマホの画面なども横書きです。また、文章中の数字や英文字は横書きが自然であり、編集やレイアウトの自由度にすぐれています。

あわせて、読者の皆さんに親しみを持っていただくため、年2回、図書券をゲットできるクイズ企画を始めています。すでに3回実施しましたが、回答者数は毎回増加し、回答に添えられる「市議会だより」への感想やご意見を多数お寄せいただいています。今後とも皆さんのご意向も取り入れながら、紙面改革に取り組んでまいります。

また、「市議会だより」各号の表紙を飾り、大変高い評価をいただいている「篠山養護学校」の児童・生徒さんによる絵画などの作品は、今後とも続けてまいります。



《3》議会での私の一般質問と市長等の答弁

私の水無月会議における質問は、「本市の環境施策について～“燃やす・燃やさない”の視点から～」でした。私の質問と市長はじめ市の回答の要旨は次のとおりです。

◎大きな山火事の発生を防ぐために。

質問 本年2月～3月、岩手、愛媛、岡山などで大きな山火事

が発生した。本市の山火事は、令和になってから年間3～7件発生しているが、最近は雪も少なく、地表部が乾燥していると大きな火災になる危険がある。ほとんどの山火事の原因は、野焼きなど「たき火」である。また、住環境保全の面からも野焼きを減らす対策が必要である。（裏面へ続く）

この市政だよりの発行は、政務活動費を充当しています。

回答 本年発生した12件の火災の内9件は野焼きが原因であり、また煙や臭いにより市民に深刻な健康被害を及ぼしている。野焼きの原則禁止は、ふるさと一番会議や自治会長会、市の広報誌などで呼び掛けている。

燃やさない枯草や農作物残渣の処理については、畑にすき込んだり 煙の出ない炭化などがあるが、それぞれ工夫いただいていると思う。黒豆などの農作物残渣の炭化については、現在、「無煙炭化機」の実証実験をしている。

◎清掃センター 2027年度からの運営について。

質問 丹波市との共同運営は、令和9年(2027)3月で終了予定だが、丹波市からの清掃センター業務にかかる分担金や山南町のごみ処理がなくなることによる清掃センター業務の見直しは。

回答 ごみの搬入量が減少することから、消耗品、光熱費、委託料などについて、十分に精査し経費削減に努める。

また、処理量や業務量の減少に伴い、業務内容や人員配置についても精査し、見直しを検討する。

◎プラスチックごみの一括回収処理について。

質問 プラスチック資源一括回収の方針に伴い、本年1月からプラスチックごみの収集方法が変更されたが、分別収集は順調に進んでいるか。また、市民の皆さんへの啓発をさらに進めるため、第2、第3の「ごみ博士」の出現が待たれる。

回答 分別の変更には当たっては、啓発チラシの配付、広報誌や市のH.P掲載、住民学習会などで説明を行い、分別収集量は増加している。また、第2の「ごみ博士」の養成も順調に進んでいる。



◀4>>兵庫医科大学ささやま医療センターの存続問題

本市と兵庫医科大学間の「ささやま医療センター」運営に関する基本協定は、7月13日に満了となることになっていました。兵庫医科大学は、この協定を更新しない立場であることから、「ささやま医療センター」をどのように存続させるのかについて、兵庫医科大学と市内2カ所の医療法人が協議をされてきました。

そして、7月10日、市より直近の状況について発表があり、新聞各紙では7月12日から、その内容が報道されました。それによると、①兵庫医科大学は、「ささやま医療センター(老人保健施設および居宅サービスセンターを含む)」の経営移譲協議先として、「医療法人社団 みどり会にしき記念病院」に優先交渉権を付与し、今後はこの2法人で協議を進めることになった。

②本市と兵庫医科大学は、原基本協定中、「運営に係る

費用負担」や「病院機能、診療科目」等の条項を除き、令和8年3月まで延長する。「運営に係る費用負担」や「病院機能、診療科目」等の条項については、今後協議の上、必要な見直しを行う、という内容でした。

また、にしき記念病院の院長でもある井手理事長が市役所で会見をおこない、「市民の皆様安心していただくため、現医療体制の堅持と今以上の救急体制の充実を図りたい」と強い決意を示されました。今後、両法人間で経営移譲に向け具体的な協議が始まりますが、良い結果となることを願っています。

にしき記念病院長 井手先生には熱いエールを送りたいと思います。どうか体に気をつけて(釈迦に説法ですが)市民の健康を守るため よろしく願います。

また、移譲協議に手を挙げていただいた「医療法人社団 紀洋会岡本病院」にも感謝申し上げます。

地域をいきいきと!

今回も、地域の声や市民の皆さんの思いを市政に活かすための取り組みについてです。

私が議員になってから、これまで様々な市政に関する要望をお聴きしてきました。

①公園遊具の修繕 ②小河川の改修 ③カーブミラーの設置 ④水道管の漏水による水道料金の相談 ⑤市のイベント・式典への音楽団体の出演 ⑥自転車用ヘルメット購入補助---などなど。 実現したものもありますが、残念ながら出来なかったこともあります。

また、私の一般質問の内容で、市民の方からの要望や思いがきっかけになったものとしては、

①コロナ禍で疲弊した市民活動の復活 ②自治会業務の負担軽減 ③連動型火災警報器の設置 ④石碑の案内板設置など多岐に渡ります。

今後とも地域や市民の皆さんの声を、議員活動や一般質問により、市政に反映できるよう取り組みますので、ご意見・ご要望をお寄せください。よろしく願います。



地域をいきいきと!



市議会議員 堀毛 宏章 〒669-2325 丹波篠山市河原町 140 番地

TEL & FAX : 079-552-5731 E-mail : horike.hiroaki@gmail.com

題字 「きくとこたえる」: 皆さんの声を良く聴(き)く、そして、それに応(こた)える

そのような姿勢で臨みます。どうかご意見をお寄せください。

市政に関して何かご相談ごとがありましたら、遠慮なくお聞かせください。

(1号~6号の予備あります。ご希望の方はご連絡ください)



きくとこたえる 第8号 令和7年(2025)11月25日発行

丹波篠山市議会議員 堀毛ひろあき 市政だより

《ごあいさつ》 この度、「きくとこたえる 第8号」を発行いたしましたので お届けします。 今回の内容は

- 《1》 9月「長月会議」での本年度補正予算と条例改正 《2》 議会報告会(後期)の開催
《3》「長月会議」での私の一般質問と市長の答弁 《4》 地域をいきいきと!

以上の構成となっています。 ご覧いただけましたら うれしいです。

議会報告

9月「長月会議」での本年度補正予算と条例改正

長月会議(9月2日~9月25日)が開催され、市当局より、今年度一般会計補正予算(第6号)計2億180万3千円はじめ、国民健康保険など3つの特別会計、水道など2つの事業会計についての補正予算および5件の条例改正案が提出され、各常任委員会で審議、9月16日の予算決算委員会および9月25日の本会議ですべて可決しました。主な内容は次のとおりです。

一般会計補正予算(第6号)

キーワード	事業名	内容	予算額(万単位)
地域と暮らし	産科救急医療対策補助金事業	市内唯一の分娩医療機関であるタマル産婦人科の助産師3名の人件費を補助し、24時間365日の受け入れ体制を維持します。	900万円
	鳥獣被害対策事業	4月に起きた猫犬による飼い犬死亡事故を受け、鳥獣被害対策実施隊に銃器捕獲研修の受講を義務化。事故防止と安全な捕獲体制を構築します。	94万円
	学校給食用のお米価格上昇対策事業	給食で使用する「農都のめぐみ米」や化学肥料・農薬不使用米の価格上昇に対応し、使用を継続します。	1,091万円

条例改正

キーワード	条例名	内容
農都の魅力向上	こんだ薬師温泉ぬくもりの郷の設置及び管理に関する条例	「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」に「道の駅」を併設するに当たって、新施設名を「道の駅こんだぬくもりの郷」とする市案に対し、議会は、温泉の魅力を考慮し「道の駅こんだ温泉ぬくもりの郷」とする修正案を提出し、全会一致で可決しました。

《2》 議会報告会(後期)を開催しました。

市議会の水無月・長月会議の活動内容を報告するとともに、市民の方の様々な意見をお聞きし市政に反映するため、年6回、「議会報告会」を開催しています。前期の3回は5月に、そしてこの11月は、後期を開催しました。

私が出席した城東会場では、意見交換会のテーマを「自治会・まちづくり協議会の現在・過去・未来~持続可能な活動に向けて~」とし、課題の解決に向けての提案を出し合いました。私と同僚議員が担当した「自治会班」で出された主な課題と課題解決に向けての提言は、次のとおりです。

主な自治会の課題	課題解決に向けての提言
•自治会役員の負担が大きい。	•LINEなどのツールを活用し、連絡や情報伝達の労力を減少する。
•定例集会や祭りなど地域活動への参加人数が減少している。	•市外に住む家族(若者・子ども世代)に帰省を促し、地域行事への参加を要請する。また、市外に転出した家族にリターンを呼び掛ける。
•他地域から移住された方が、行事に参加してもらえない。	•市のワクワク農村プランなどを活用し、自治会員間のコミュニケーションを活性化させる。
•自治会役員の固定化、高齢化、担い手不足が深刻。 •空き家の活用ができていない。	•各自治会の課題解決の取り組みを広く紹介してもらい、参考にしてはどうか。
•曳山など伝統行事が真夏にあり、熱中症対策に苦慮している。	•酷暑対策として、真夏のお祭りの日程や時間を変更する、また、開催時期の変更が可能かどうか検討する。

この市政だよりの発行は、政務活動費を充当しています。

《3》「長月会議」での私の一般質問と市長の答弁

私の長月会議における質問は、「本市の人権施策(住民学習・多文化共生)についてでした。私の質問と市長はじめ市の回答の要旨は次のとおりです。

質問 本市の住民学習は 50 年に渡り、各自治会で連綿と続けられてきた。市民の皆さんは、人権を守り尊重する気概が強い。住民学習は、これからも継続してほしい。

また、この半世紀を契機に、これまでの取り組みを検証してはどうか。

回答 自治会の住民学習が 50 年続けられてきたのは、市民の皆さんの人権意識の高さにある。今後も継続していく必要があると考えている。

また、住民学習の検証については、令和 8 年度に「人権に関する意識調査」を実施する中で、現状を調査、分析するとともに課題なども検証していきたい。

質問 2027 年より、外国人就労制度の「技能実習」が「育成就労」に替わる。この制度変更による本市外国人就労者の動向について、どのように予測しているか。

回答 制度変更によって外国人就労者がより働きやすく定着への環境整備が進むことから、就労者は増加につながる時期

待しているが、各企業に問い合わせたところ、まだ計画策定までには至っていないということだった。

質問 現行の「外国人市民共生会議」と「多文化共生推進基本方針検証会議」の二つの組織を合体し、多文化共生を推進できるような一つの組織にしてはどうか。

回答 それぞれの目的の違いはあるが、「多文化共生推進協議会(仮称)」のような一つの組織にして推進できないか、委員にも聞いて検討したい。

質問 多文化共生促進のカギは、意思疎通・コミュニケーションにあると考えるが、どんどん多国籍化が進むと、生活情報などの多言語化にも限界がある。

「やさしい日本語」による会話や情報提供が大切だ。

回答 外国人市民への生活支援では、日本語学習、多言語対応、通訳事業などを実施しているが、併せて、言葉遣いや表現そして文章の長さなどに配慮し、簡潔でわかりやすい「やさしい日本語」での対応を庁内でも研修を実施し推進している。また、「やさしい日本語」の使用を、地域や企業、病院などにも広がるよう働きかけていきたい。



《4》 地域をいきいきと！

ようやく秋らしくなった 10 月末から 11 月上旬、二つの大切な市の行事が開催されました。

【1】市戦没者追悼式(10 月 29 日) :

戦後 80 年となる本年の市戦没者追悼式が、おごそかに開催され、ご遺族はじめ参加者がそれぞれの思いを胸に献花されました。私も母方の伯父が戦死しています。市遺族会・石川英昭会長の「二度と戦争をしてはならない」との言葉が胸を打ちました。



【2】市功労者表彰式(11 月 3 日) :

自治功労、文化功労、ふるさと功労および寄付功労で 19 名、2 団体の皆さんが受賞されました。

私が所属する「日本の童謡・唱歌をひろめる会」は、芸術文化の向上と地域活性化に尽力したということで、「ふるさと功労」を受賞いたしました。今後とも活動の活性化に努めてまいります。



(お願い) : 地域や市民の皆さんの声を、議員活動や一般質問により市政に反映できるよう取り組みます。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。よろしく申し上げます。



地域をいきいきと！

市議会議員 堀毛 宏章 〒669-2325 丹波篠山市河原町 140 番地
TEL & FAX : 079-552-5731 E-mail : horike.hiroaki@gmail.com

題字「きくとこたえる」: 皆さんの声を良く聴(き)く、そして、それに応(こた)えます。
市政に関して何かご相談ごとがありましたら、遠慮なくお聞かせください。

(第 1 号~第 7 号の予備あります。)



きくとこたえる 第9号 令和8年(2026)1月20日発行

丹波篠山市議会議員 堀毛ひろあき 市政だより

《ごあいさつ》

年が明け、新しい一年が始まりました。心も新たに議員活動に邁進します。現在、私は、市の予算（補正を含む）および決算を審議する「予算決算委員会」委員長と“市議会だより”の編集などに当たる「議会広報特別委員会」委員長を兼務しています。どちらも任期は本年4月末までですが、与えられた任務を精一杯果たしてまいります。

さて、この度「きくとこたえる 第9号」を発行いたしましたのでお届けします。

- ◎今号の内容は <<1>> 令和6年度の決算認定 <<2>> 12月「師走会議」での補正予算および条例改正
<<3>> 「師走会議」での一般質問と市長の答弁 <<4>> 地域をいきいきと！

以上の構成となっています。ご覧いただけましたらうれしいです。



写真右：4月より校名が変更となる「篠山養護学校」

議会報告

<<1>> 令和6年度の決算認定

決算審査は、前年度に実施された行政事業の効果等を評価し、次年度以降の改善に繋げるという重要な役割があります。審査は、総務文教、民生福祉および産業建設の各分科会で実施し、令和6年度一般会計はじめ3つの特別会計および2つの公営企業会計の決算を認定しました。審査の際の議会からの主な質疑と市側の答弁は、次の通りです。

決算項目	審査での質疑	市側の回答
住もう帰ろう運動	篠山への移住者数は過去最高だが、空き家の登録件数が不足している。	空き家の登録件数をさらに増やしたい。ただ、本市の空き家のニーズは高い反面、価格も高いと言われており、課題であると認識している。
こども医療費助成	令和5年度と比べ、助成金額が増えているが、原因は。	RS ウィルス感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、プール熱などが流行したこともあり、助成額が増加した。
ふるさと応援寄附金	令和6年度の実績は5億3,100万円だったが、今後の見通しは。	ふるさと納税については、国の制度改正に適正に対応。また、新規返礼品の拡充に努めている。令和7年度の目標6億5,000万円を達成したい。
観光客おもてなし	(城下町地区巡回の無料バス)「めぐりーん」の事業内容と運行実績は。	「めぐりーん」は、8人乗り、低速運行の電気自動車で、令和6年度の利用客は2,614人。令和5年度に比べて横ばいで推移している。
特産物振興	山の芋の作付面積が減少している。栽培の現状と生産への補助金について。	作付面積は15.6haで昨年度の88%。栽培者数は約300人、この10年間で半減している。栽培の技術や知識が必要で機械化の困難さなども減少の背景にある。新規栽培者を支援する「一家にひとつね山の芋運動」事業で生産者支援を継続していきたい。
水道事業会計	人口減少により給水人口が減少している一方、給水件数と有収水量※が増加した原因は。	アパートや一戸建ての建設により給水件数が増加した。また、食品製造工場の本格稼働や猛暑による一般家庭の使用量の増加による。 ※有収水量(ゆうしゅうすいりょう)：家庭や工場などの水道メーターに計量された料金の対象となる水道の量

<<2>> 12月「師走会議」での補正予算および条例改正

師走会議(11月27日～12月19日)が開催され、市当局より、一般会計と国民健康保険、介護保険特別会計および水道、下水道の事業会計について、補正予算案が提出されました。ただ、今回は事業精査による補正が多く、一般会計補正予算(第8号)の総額は7,326万円の減額、他の4会計もすべて減額の提案でした。また、8件の条例改正案が提出され、各常任委員会で審議、12月16日の予算決算委員会および12月19日の本会議ですべて可決しました。主な条例改正は、次のとおりです。

◎主な条例改正

キーワード	条例名	内容
学校教育の充実	丹波篠山市立特別支援学校の設置に関する条例の一部を改正	「丹波篠山市立篠山養護学校」の名称を令和8年4月1日より「丹波篠山市立ささやま支援学校」に改める。

この市政だよりの発行は、政務活動費を充当しています。

<<3>> 「師走会議」での私の一般質問と市長の答弁

今回の一般質問は、1.本市の火災警報器の設置について
2.「歴史まちづくり法」の活用についての2点です。

質問と市長はじめ市の回答の要旨は次のとおりです。

問1 令和7年度、本市の火災警報器設置率は83.5%で、100軒中16軒以上が未設置となっている。当面、90%越えを目標に設置の啓発を。

答 火災警報器の設置・交換の啓発に向け、広報やH.Pをはじめ地域の防災訓練、救急講習の際の説明、チラシ配布などに取り組んでいる。本市の第3次総合計画(後期基本計画)では、2030年に86%、将来的には90%越えを目指す。

問 重要伝統的建造物群保存地区など「住宅密集地」の火災警報器は、一刻も早く近隣に火災を知らせるグループモニター式の「無線連動型」が望ましいが、高価であり、地域全体の取組であることから公的助成が必要である。

答 重伝建地区の防災計画には、グループモニター式が位置付けられており、国の



延焼防止が急務の住宅密集地域

整備補助が可能であるが、建物の修復・修景補助との兼ね合いがあるため、調整が必要となる。重伝建地区以外の住宅密集地についても補助制度について調査・研究する。

問2 国の「歴史まちづくり法」に基づく「歴史的風致維持向上計画」を策定、国の認定によって、歴史文化施設4館の修繕をはじめ城跡外堀の修景やグループモニター式無線連動火災報知設備など様々な整備に助成措置を受けることが可能になると考えられる。是非、計画の策定を進めていただきたい。

答 「歴史まちづくり法」は、歴史的なまちなみの風情や情緒、良好な環境を維持・向上させ、後世に継承することが目的である。「歴史的風致維持向上計画」の策定と国の認定によって、歴史的建造物や城跡などの保存修理、整備等に対する補助や補助率の加算などの支援措置を活用できる。また、今後検討している城下町地区の無電柱化工事なども該当する余地がある。

計画策定によって、今後予定する事業がどのように有利に展開できるのか、また、今予定していないものも含めて、そのメリットを検討し、これを踏まえて制定に向けて検討する。



「4」 地域をいきいきと!

今回は 私の一般質問の結果、市によって実施された事業の報告(第2回)です。

◎北堀端整備事業

(令和7年弥生会議での質問および提案)

- ①北堀面すれすれに傾いた杉2本の伐採
- ②銅像台座部分を囲む破損した石柱等撤去
- ③多数のコンクリートブロックの撤去



①修景前(杉2本伐採前)



②修景前(石柱撤去前)



③修景前(ブロック撤去前)



①修景後(堀面すれすれに傾いた杉2本を伐採)



②修景後(石柱等撤去)



③修景後(ブロック撤去)

以上の修景事業が、この度実施され、整然とした北堀端がよみがえりました。



地域をいきいきと!

市議会議員 堀毛 宏章

TEL & FAX : 079-552-5731

〒669-2325 丹波篠山市河原町140番地

E-mail: horike.hiroaki@gmail.com

題字「きくとこたえる」: 皆さんの声を良く聴(き)く、そして、それに応(こた)えます。

地域や市民の皆さんの声を市政に反映できるよう取り組みます。ご意見・ご要望をお寄せください。また、市政に関して何かご相談ごとがありましたら、遠慮なくお聞かせください。



◎政務活動費を使用した広報活動の基本

《 1 》 議会と議員の活動を「読みやすく・分かりやすく」伝える。

《 2 》 市議会だよりとの違い

(1) 私の所属委員会での活動を詳しく伝える。

① 予算決算委員長 (例 1)

令和7年度 主な事業と予算額 (丹波篠山市「当初予算の概要」から抜粋・編集)

キーワード	事業名	内 容	予算額(1万円未満カット)
シンボル事業	丹波篠山国際博 ～日本の美しい農村、未来へ～	プロジェクションマッピングを始め数々のイベントで丹波篠山の魅力を内外に大発信！	9,223万円
子育て一番	高校生までの医療費助成	中学3年迄のこども全員、医療費無料(7月～) 高校生等全員の医療費助成(10月～)	8,975万円
	給食費保護者負担一部無償化	小・中学生の給食費、市が半額負担	6,904万円
	(仮称)城東こども園新築整備	城東中学跡地に建設、令和9年開園予定	2億8,601万円
	夏季期間の遠距離通学バス運行	猛暑の7～9月、児童下校時の熱中症対策	2,250万円
	妊娠・出産包括支援事業	「My助産師」による産前産後ケアから妊娠・ 出産祝金、健康診査助成までの支援充実	5,220万円
農都・魅力向上	ユニバーサルな観光地づくり	障がい者、高齢者等が安心できる市内観光を	259万円
	「道の駅」オープン整備	「こんだ薬師温泉」で開設に向けた施設整備	2億5,501万円
	八上城跡整備基本計画の策定	登山道整備などの計画を今年度に策定	725万円
	「丹波篠山の家」推進事業	「丹波篠山の家」建築工事助成など	1,706万円
	「陶の郷」改修工事	外壁・屋根の長寿命化工事および展示改修等	1億4,191万円
	自伐型(環境創造型)林業支援	「間伐」と「壊れにくい作業道」で持続可能な 林業の支援、事業の調整や事業者育成支援	1,589万円
	鳥獣被害防護事業	市内26地区で獣害柵の設置	7,092万円
	[丹波黒][農都のめぐみ米]推進	黒豆種子生産農家、めぐみ米生産農家補助金	1,325万円
	担い手支援事業	黒豆、米作りの農機具購入助成	3,295万円
地域と暮らし	デマンドバスの運行	10月から、市内西部地域での運行開始	9,596万円
	ワクワク農村未来プラン推進	自治会の取り組みを支援(10万円の支援金)	1,930万円
	外国人市民との多文化共生事業	オンライン医療通訳体制の整備	60万円
	JR篠山口駅周辺整備と活性化	駅前整備基本構想の策定など	118万円
	四季の森グラウンド照明設備	夜間利用のための照明設備新設	3,606万円
	地元企業就職の促進対策	従業員の奨学金返済を支援する市内企業へ 「奨学金返済支援制度導入促進奨励金」制度	100万円

②広報特別委員会委員長（例2）

「市議会だより」の紙面改革と人気のクイズ企画



私が委員長を務める「議会広報特別委員会」では、「“分かりやすく読みやすい”市議会だより」を目指して、いろいろと検討を重ねています。そして、その一環として、4月21日発行の114号では、記事のほとんどを、7月18日発行の第115号では、記事のすべてを、これまでの「縦書き」中心から「横書き」に改めました。

最近のさまざまな印刷物は横書きが多く、パソコン・スマホの画面なども横書きです。また、文章中の数字や英文字は横書きが自然であり、編集やレイアウトの自由度にすぐれています。あわせて、読者の皆さんに親しみを持っていただくため、年2回、図書券をゲットできるクイズ企画を始めています。

すでに3回実施しましたが、回答者数は毎回増加し、回答に添えられる「市議会だより」への感想やご意見を多数お寄せいただいています。今後とも皆さんのご意向も取り入れながら、



紙面改革に取り組んでまいります。

また、「市議会だより」各号の表紙を飾り、大変高い評価をいただいている「篠山養護学校」の児童・生徒さんによる絵画などの作品は、今後とも続けてまいります。

③民生福祉常任委員会（例3）

当委員会では、次の3つの団体（敬称略）の皆さんと「議員と語る会」を開催しました。

- ①「NPO法人スマイルポケット」（令和6年8月）：経済的、また障がいや難病で、生活が厳しい子育て世帯に食材や日用品を配達（ささこスマイル便）、障がい者作業所などで作られたお弁当を無料で配布（ささこ弁当）、子どもの居場所づくり（ささこ子青空ひろば）など多くの子育て支援に取り組まれています。
- ②「生活協同組合コープこうべ共同購入センター丹波」（令和6年10月）：丹波篠山市社会福祉協議会やネットヨタ篠山との連携・協力のもと、高齢者世帯等の買い物支援と地域の集い場づくりに取り組まれています。
- ③「丹波篠山市手をつなぐ育成会」（令和6年11月）：市内に在住・在勤する知的障がいの方を守り、教育と福祉の向上を図るため、地域生活支援事業に取り組まれています。

④地域医療対策委員会（例4）

兵庫医科大学ささやま医療センターの存続問題

本市と兵庫医科大学間の「ささやま医療センター」運営に関する基本協定は、7月13日に満了となることになっていました。兵庫医科大学は、この協定を更新しない立場であることから、「ささやま医療センター」をどのように存続させるのかについて、兵庫医科大学と市内2カ所の医療法人が協議をされてきました。

そして、7月10日、市より直近の状況について発表があり、新聞各紙では7月12日から、その内容が報道されました。それによると、①兵庫医科大学は、「ささやま医療センター（老人保健施設および居宅サービスセンターを含む）」の経営移譲協議先として、「医療法人社団 みどり会にしき記念病院」に優先交渉権を付与し、今後はこの2法人で協議を進めることになった。

②本市と兵庫医科大学は、原基本協定中、「運営に係る費用負担」や「病院機能、診療科目」等の条項を除き、令和8年3月まで延長する。「運営に係る費用負担」や「病院機能、診療科目」等の条項については、今後協議の上、必要な見直しを行う、という内容でした。

また、にしき記念病院の院長でもある井手理事長が市役所で会見をおこない、「市民の皆様にご安心していただくため、現医療体制の堅持と今以上の救急体制の充実を図りたい」と強い決意を示されました。今後、両法人間で経営移譲に向け具体的な協議が始まりますが、良い結果となることを願っています。

にしき記念病院長 井手先生には熱いエールを送りたいと思います。どうか体に気をつけて（釈迦に説法ですが）市民の健康を守るため よろしく願います。

また、移譲協議に手を挙げていただいた「医療法人社団 紀洋会岡本病院」にも感謝申し上げます。

(2) 私の一般質問、その後どうなった？

これまでに行った「一般質問」に対する市執行部の回答とその後の経過について報告を行う。

①事例 1

地域をいきいきと！

今回は、これまで私が議会で行った一般質問の主な内容と市当局の回答、そして現状について報告します。

- **提案**：防災・交通安全・景観形成に資するため、市内無電柱化推進計画の作成を！

丹波篠山の未来につながるロマン。無電柱化にはそのシンボルとなれる要素があります。

大手通り、河原町通り引き続き、無電柱化推進を今後とも継続し、地域がいきいきと輝く丹波篠山市に。(令和5年長月会議)

- **回答**：今年度(令和6年度)中に市内無電柱化推進計画を作成する。

- **現状**：今年度中に(令和6年度)作成の見込み
河原町の街並み



- **提案**：大手通りに、観光客に分かりやすい観光案内板の設置を！

城下町地区に来訪の観光客からは、トイレの案内表示が小さく、場所が分かりにくいと言われます。

丁度、大手前北駐車場の入口北側にある観光案内板が古く、使えない状況にあります。これを再利用して、大手通りの然るべき場所に中心市街地の観光案内板を設置すべきです。

(令和5年師走会議)

- **回答**：提案に沿って再利用し、更新したい。

- **現状**：大手前北駐車場入口手前に設置済み(写真右)

- **提案**：野焼きによる火災防止の啓発を！

案

案内表示内容を一新、脚などの基礎部分は再利用

本市は、「野焼き」が原因の火災が多い。火災は、かけがえない命も含め多大な被害が発生するだけでなく、消防署員や消防団員の負担を大きくします。特定の日を定め、本市独自の防火の呼びかけ、消防機器の点検、火災警報器の設置・更新など強力な啓発キャンペーンの実施を！(令和6年長月会議)

- **回答**：日頃からさまざまな防火啓発を行っている、また今後とも実施していく。

- **現状**：令和6年の火災発生件数は34件で、昨年に引き続き30件を超え、ここ10年では最多となっている。消防署・消防団からは、防火の啓発や火災警報器の設置・更新を呼び掛けている。



②事例 2

地域をいきいきと！

今回は 私の一般質問の結果、市によって実施された事業の報告(第2回)です。

◎北堀端整備事業

(令和7年弥生会議での質問および提案)

①北堀面すれすれに傾いた杉2本の伐採を

②銅像台座部分を囲む破損した石柱等撤去

③多数のコンクリートブロックの撤去



①修景前(杉2本伐採前)



②修景前(石柱撤去前)



③修景前(ブロック撤去前)



①修景後(堀面すれすれに傾いた杉2本を伐採)



②修景後(石柱等撤去)



③修景後(ブロック撤去)

以上の修景事業が、この度実施され、整然とした北堀端がよみがえりました。